

令和4年度 学校評価自己評価表

(子ども達に育てたい資質・能力)

a ミッション	「世羅がすき、甲山小学校がすき、学級がすき、そんな自分がすき」といえる児童の育成	a ビジョン (学校教育目標) 共に学び 進んで挑戦 思いやりいっぱい 甲山っ子 (めざす学校像) 確かな学力をつける学校(基礎・基本の力、表現力) ○学びの環境を整え、安心・安全な学校 ○地域と連携し、信頼される学校 (めざす子ども像) ○課題を発見し、主体的に学ぶ子ども ○豊かに表現する子ども ○互いに認め合い、最後までがんばる子ども 自発性・コミュニケーション能力
---------	--	--

世羅町立甲山小学校

評価計画				自己評価					学校関係者評価			改善計画	
b 中期経営目標	c 短期経営目標	d 目標達成のための方策	e 評価指標	f 目標値	7月	1月	h 達成度	i 評価	j 結果と課題の説明	k 二次評価			m 改善案
					g 達成値	g 達成値				イ	ロ	ハ	
確かな学力	探究的な学習(課題発見・解決学習)を実践し、学力の向上を図る。	○探究的な学習となるように単元開発を行い、児童の課題発見・解決能力を育成する。 ・自動化できる活動を増やし、主体的に学習する態度を養う。 ・ICT機器を活用して課題解決を図る授業改善を行い、情報活用能力を高める。(クラウドを活用した協働学習・コンテンツの利用・プログラミング・情報モラル等) ・対話を大切にした授業改善を行い、コミュニケーション能力を高める。	○全国学力・学習状況調査および標準学力調査において、正答率が全国平均を上回った児童の割合	全国学力調査 60% 標準学力調査 75%									
心身の成長	豊かな心と健やかな体を育成する	○児童が自ら課題を見つけ、解決に向けて主体的に行動できるよう、児童会や高学年を中心として取組を進めていく。 ・あいさつ、返事、MUGON3に取り組み、さらなるレベルアップを目指す。 ・縦割りの活動を図り、コミュニケーション能力を高める。 ・走り方についての掲示物や動画を見せることで、走り方の正しいフォームを身に付けさせる。 ・週に一回、体育朝会を設定し、音楽を流す間、トラックを走る「長距離走」を継続的に行う。 ・長距離走の甲山ギネスを掲示したり、「長距離走」で何周走れたかをカードの記録したり、定期的(4、5、6、10、11、12月)に長距離走のタイムを測定したりすることで、目標をもたせて、意欲づけを図る。	○あいさつレベル4以上、返事レベル2以上を達成した児童の割合 <あいさつレベル> 5 笑顔で立ち止まっておしぎ 4 顔をみて 3 自分から 2 はっきり 1 聞こえる声 <返事> 2人 はっきりと 2 大きな声で 1 小さな声で	あいさつ 85% 返事 85% 無言 385%									
地域と創る学校	地域と共に育つ子供の育成	○地域と連携・協働するために、地域運営協議会を中心に、学校教育活動に参画してもらおうと作りを行う。 ○発達段階に応じて、地域と関わる学習を展開する。 地域学習におけるグロブスターチャーターなど、児童生徒が地域の方々と関わる場を設ける。 ○意図的・継続的な情報発信を行う。(各種たより、ホームページ等)	学校運営協議会を年3回以上開催。 地域とのつながりに係る肯定的評価の割合(児童・保護者・地域)	100% 85%以上									
子供と向き合う時間の確保	子どもと向き合う時間を確保する。	○児童実態の共有化を日常的に図り、肯定的評価と積極的な生徒指導を推進するとともに、保護者連携を適切に図ることににより、充実・安定した学校生活の実現を図る。 ○やりがいとつながりのある職場づくりを推進するために、職員同士のコミュニケーションを大切に情報共有化を図る。 ○月半ばで超過勤務時数を各職員に提示する。	○時間外勤務時間月45時間以内の割合	100%									

【自己評価 評価】
 A: 100 ≧ (目標達成)
 B: 80 ≧ (ほぼ達成) < 100
 C: 60 ≧ (もう少し) < 80
 D: (できていない) < 60

【外部評価】
 イ: 自己評価は適正である。ロ: 自己評価は適正でない。 ハ: わからない。